

今週のお祈り 復活日特稿

すべての命と力の源である神よ、あなたはみ子の力ある復活により、罪と死の古い支配の力に打ち勝ち、み子にあって万物を新しくしてくださいました。どうか、わたしたちが罪に死に、イエス・キリストにあってあなたに生き、栄光のうちにみ子とともに支配することができるようにしてください。父と聖霊とともに、讚美と誉れ、栄光と力が、今もまた永遠にみ子にありますように。アーメン



日本聖公会 東京教区
聖パウロ教会 日ちようがっこう
〒153-0053 目黒区五本木 2-20-1
でんわ: 03-3710-6031

ごうがい
号外246

発行日
2025年
4月20日

イースター(復活日)おめでとうございます!! イエスさまは十字架につけられ亡くなり、お墓に葬られましたが、3日目に復活されました。教会ではこども礼拝の後に卵探しをします! 皆で喜び、お祝いしましょう!



今週の聖書 ルカによる福音書 24:1-10
1 そして、週の初めの日、明け方早く、準備をしておいた香料を携えて墓に行った。2 すると、石が墓から転がしてあり、3 中に入っても、主イエスの遺体が見当たらなかった。

聖書からのメッセージ 司祭 橋本 克也

「復活日」は、キリスト教会の誕生日です。『キリストが、聖書に書いてあるとおりわたしたちの罪のために死んだこと、葬られたこと、また、聖書に書いてあるとおり三日目に復活したこと、ケファに現れ、その後十二人に現れたことです。』と聖パウロは復活の信仰を宣言します。復活の信仰は、祝福のうちに神の赦しと癒しによる尊い命を日々新しくされて生きる信仰です。困難を生きる世界に心を向けてその痛みと叫びの声を聴き合ひましょう。そしてイースターを皆で感謝して喜びを伝え、お祝いしましょう。

4 そのため途方に暮れていると、輝く衣を着た二人の人がそばに立った。5 女たちが恐れて地に顔を伏せると、二人は言った。「なぜ、生きておられる方を死者の中に捜すのか。6 あの方は、ここにはおられない。復活なさったのだ。まだガラヤにいられた頃、お話しになったことを思い出さない。7 人の子は、必ず罪人の手に渡され、十字架につけられ、三日目に復活する、と言われたではないか。」8 そこで、女たちはイエスの言葉を思い出した。9 そして、墓から帰って、十一人とほかの人皆に一部始終を知らせた。10 それは、マグダラのマリア、ヨハナ、ヤコブの母マリア、そして一緒にいたほかの女たちであった。女たちはこれらのことを使徒たちに話した。